

神戸大学交響楽団

第19回定期演奏会



第19回定期演奏会

昭和44年12月15日

神戸国際会館

神戸大学交響楽団

PROGRAM

Egmont Overture op.84 L. v. Beethoven

Violin Concerto D moll op.47 J. Sibelius

Allegro Moderato

Adagio di Molto

Allegro ma non Troppo

———— INTERMISSION ————

Symphony No.2 D dur op.73 J. Brahms

Allegro non troppo

Adagio non troppo

Allegretto grazioso

—presto ma non assai

Allegro con spirito

メガネの専門店

愛光堂眼鏡堂

神戸市生田区中山手2-39 078 (22) 1268

YMCA北半丁 神戸女子短大前

エグモント序曲 作品84 ベートーヴェン

指揮 谷口 浩

ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47 シベリウス

独奏 木原啓子

指揮 木原俊哉

アレグロ モデラート

アダージョ ディモルト

アレグロ マノン トロポ

—— 休 憩 ——

交響曲 第2番 ニ長調 作品73 ブラームス

指揮 谷口 浩

アレグロ ノン トロポ

アダージョ ノン トロポ

アレグレット グラツィオーソ

—プレスト マノン アッサイ

アレグロ コンスピリート

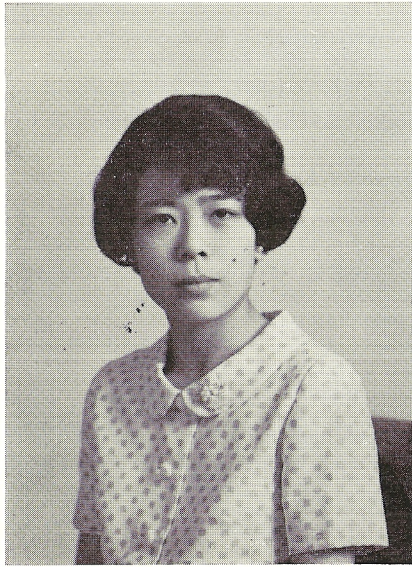


名曲喫茶
らんぶる

エロイカ アンプ使用

神戸トアロード山側 TEL(33)0281





Solist

木原 啓子

彼女は、名古屋在住中の6才当時から西崎信二氏にバイオリンを学び、大阪では石井純氏に師事、我々神大オケには大阪教育大学在学中から第1バイオリンとして客演、演奏会は勿論、合宿にコンパに活躍されていた。この間も野間太郎氏をはじめ、芸大の井上・ホロニオヴァ両教授等の諸先生方に師事し、現在も多忙な演奏活動に東奔西走の活躍をされている。

幼児よりの熱心な練習のため食事もおぼつかず、特に伸長期を尼崎のスモッグの中で過したため身体のほうは期待される段階に達しなかったのだそうであるが、こと音楽のこととなると昼夜の別なくピバルディからクライスラーまで、(但し、バッハはあそびで弾いても彼女の望む通りには『弾かれへん』のだそうである)研鑽を積み、あくまでもすばらしい、ヴァイオリンとあくまでも初歩的な弟(彼が今夜の指揮者である。その体軀の相違を見て下さい。)のチェロとの二重ソナタで尼崎近辺では著名である。

高校時代すでに、メンデルスゾーンの協奏曲をこなし、卒業時はショーソンの『詩曲』を、さらに、今夜シベリウスの難曲にいとむことになったが、日常生活ではあくまでもひかえめでつつましやかな彼女なのである。そのしとやかさを誤解し腕自慢の男が彼女の面前でバッハのパーティータを弾いたところ、あくまでもひかえめに、かつ、よみごとに弾かれてくだんの男退散した、とかいうことも聞き及んでいる。

このような雑言がいえるのも、彼女と神大オケのつながりの深さ故である。ボーリングは2桁、ハイキングしたり、旅行に行ったり、遊ぶことも好きな女の子、まだ独身である。条件は、音楽が好きで、どんどん弾かせてくれることだそうである。酒飲みも可。なぜなら、彼女の家は酒屋なのだから……。さて彼女にとっては初めてのオーケストラとの協演、今夜のシベリウスに乞う御期待。

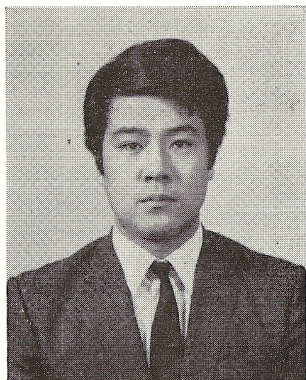


Conductor

谷口 浩

ドビュッシーを愛しながらもブラームスを尊敬する彼にとっては、指揮者としてのこの2年間は非常に貴重な月日だったと思う。昨年の定演では「悲劇的序曲」そして今年は「交響曲第2番」と、ブラームスを中心として指揮活動をしてきた。練習では非常に厳しく、練習終了後もパート練習をして、帰宅が午前になることもあるそうである。

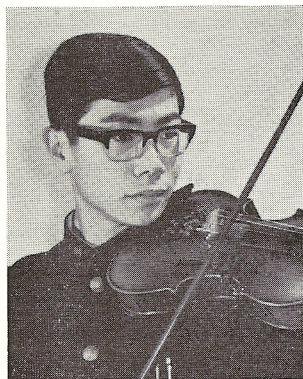
酒宴に誘われれば、あえて断りはせず行動を共にし、結局酔いつぶれることを知らぬ類の人間だといえる。こよなく酒を愛し、その陶酔の中から音楽を創造していく彼の姿に魅せられた女性が10指に余るとか。その彼も近頃はめっきり安定感が出て(何故ダロウネ)オケの部員も絶対的な信頼をおけるようになった。故カール・シューリヒト(ドイツ楽壇の長老)も今日の演奏会を見つめていることだろう。



Conductor

木原俊哉

大阪の名門三国ヶ丘高校出身の彼は conductorとして2度目のステージであるが、彼のAllegro non troppoはWalterを、Andante cantabileはMengelbergを想像させる。そして神戸大の Rostropovich にと励んでいる cellist の彼は、また社会的義務観が強く、常に、あと3人をHondaに乗せてどこやらえ。指揮棒を振ってかなりなる彼も、点棒のタクトを振ることはほとんどなく、いつもハコテンの elegy に送られるそうである、今宵の彼の姉、木原啓子さんとの ensembleはuniqueなものとなるでしょう。



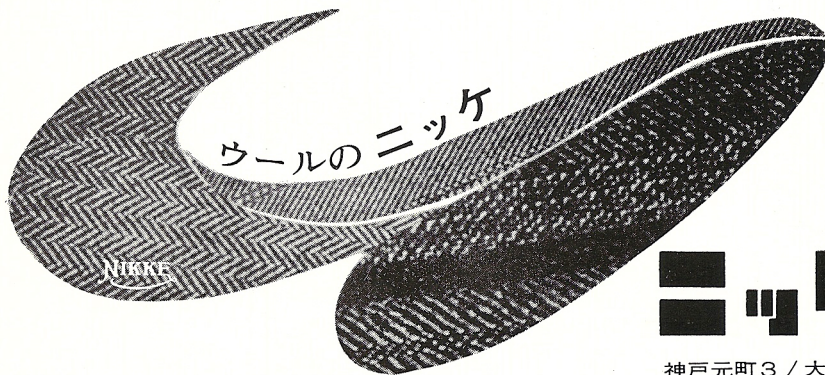
Concert master

福永精一

過去3年間にわたりコンサートマスターにあって、わがオケの大黒柱として活躍しており、彼については御存知の方が多くおられると思います。

オケ活動以外に室内楽（時にはヴァイオリンをパイに持ちかえて）、クワルテットをやったりして楽しんでいます。彼はなんでも吸収しようとする積極性を持ち、研究熱心で実行型である。例えばテレビを改造してチューニング用オシログラフを作ったりもする。他に又三味線、琴、尺八などもやる彼は、テレビで女の子は特に苦手なようである。（50キロ同盟会員）

日本毛織株式会社



ニッケ ショールーム

神戸元町3 / 大阪心齋橋